



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 福田組  
 コード番号 1899 URL <http://www.fkd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 荒明 正紀  
 (氏名) 山本 武志  
 TEL 025-266-9111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	84,158	10.7	4,177	82.8	4,263	73.4	2,792	77.3
2019年12月期第2四半期	76,043	1.2	2,285	20.6	2,459	22.1	1,575	30.5

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 2,575百万円 (64.1%) 2019年12月期第2四半期 1,569百万円 (31.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	317.46	
2019年12月期第2四半期	178.21	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	135,244	68,159	50.0
2019年12月期	139,546	68,134	48.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 67,556百万円 2019年12月期 67,538百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		110.00	110.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	3.3	6,800	15.6	7,000	16.2	4,600	16.0	540.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	8,988,111 株	2019年12月期	8,988,111 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	469,815 株	2019年12月期	147,042 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	8,796,443 株	2019年12月期2Q	8,839,184 株

当社は「株式給付信託(J-ESOP)」制度及び「役員株式給付信託(BBT)」制度を導入しております。期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式が含まれております。(2020年12月期2Q66,500株、2019年12月期70,300株)。また、「資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)」が保有する当社株式を期中平均自己株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2020年12月期2Q68,228株、2019年12月期2Q59,485株)。

なお、資産管理サービス信託銀行株式会社は、2020年7月27日にJTCホールディングス株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社と合併し、株式会社日本カस्टディ銀行に商号変更しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記述されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2020年12月期の個別業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		一株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	110,000	△8.3	4,600	△17.5	5,100	△16.8	3,500	△18.4	410.88

(注) 2020年2月13日公表時の予想数字を変更しております。

なお、第3四半期(累計)期間の業績予想は作成しておりません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12
3. [参考] 四半期個別財務諸表	12
4. 補足情報	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は、ここまでの受注高が前年を下回ったものの、建設事業の前期繰越高が高水準であったことや工事施工が順調に進捗したこと等により、前年同四半期と比べて10.7%増の841億円余となりました。

利益面におきましては、売上高の増加や採算性の高い物件が完成したこと等による粗利益率の改善が寄与し、売上総利益は前年同四半期と比べて27.2%増の89億円余となり、販売費及び一般管理費はほぼ変わらなかったことから、営業利益は前年同四半期と比べて82.8%増の41億円余となりました。

営業外損益においては、大きな変動が無かったことにより、経常利益は前年同四半期と比べて73.4%増の42億円余となりました。

一方、投資有価証券評価損の計上や法人税等の増加等はありませんでしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期と比べて77.3%増の27億円余となりました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、工程の遅れ等の業績への影響を懸念しておりましたが、感染対策を講じながら滞ることなく施工することが出来ましたので、現時点におきましては、その影響は軽微にとどまっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状況につきまして、資産については、月次の下請負代金等の支払に備えるために現金預金を増やしているものの、前期から繰り越されていた大型工事等が概ね完成したことによる、売掛債権の回収が順調に進んだことから受取手形・完成工事未収入金等が大幅に減少したため、前連結会計年度末に比べ総資産は43億円余減少し、1,352億円余となりました。

負債については、繰越工事に対する工事代金の回収が進んだことによる未成工事受入金等の増加が生じたものの、返済による借入金残高の減少が大きかったことにより、前連結会計年度末に比べ43億円余減少の670億円余となりました。

純資産については、自己株式の取得が生じたものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末に比べて2千万円余増加し、681億円余となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期までの業績は、前期以前に受注した物件を、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、滞ることなく施工し、標記のとおりとなりました。一方、受注面におきましては、お客様への訪問や面談の中止による発注の遅れ、また事業会社では、景気の急減速に伴う設備投資計画の見直しなどが発生し、当社個別の受注高は上半期で526億円余、前年同期比19.9%減となっております。

今後、第3四半期以降においても感染拡大の懸念がぬぐい去れず、消費マインドの低迷、企業活動の停滞も予想されることから、現下の受注環境が当面、継続するものと判断せざるを得ません。施工面でも工程の遅延など、工事利益の押し下げ要因を払拭しきれない状況が見込まれます。他方、当社以外の連結子会社においては、官公庁工事のウエイトが相応にある会社が多く、今のところ、甚大な影響は受けていないものの、民需を中心とした会社においては、当社同様に受注減となっている企業もあります。

このような状況から、当期の個別受注予想を920億円に引き下げ、それに従い、通期の連結業績見通しを、売上高1,760億円、営業利益68億円、経常利益70億円、親会社に帰属する当期純利益を46億円にそれぞれ修正することといたします。また、個別業績予想については、売上高1,100億円、営業利益46億円、経常利益51億円、当期純利益35億円とさせていただきます。

なお、配当予想については、従来と変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金預金	23,174	36,798
受取手形・完成工事未収入金等	70,143	53,276
有価証券	0	0
販売用不動産	2,271	1,501
未成工事支出金	2,081	2,691
不動産事業支出金	1,015	1,387
その他のたな卸資産	321	311
未収入金	4,487	2,855
その他	733	929
貸倒引当金	△25	△44
<b>流動資産合計</b>	<b>104,203</b>	<b>99,708</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物・構築物	22,879	22,939
機械、運搬具及び工具器具備品	13,449	13,601
土地	15,151	15,843
その他	753	727
減価償却累計額	△26,051	△26,097
<b>有形固定資産合計</b>	<b>26,182</b>	<b>27,014</b>
<b>無形固定資産</b>		
のれん	98	—
その他	546	559
<b>無形固定資産合計</b>	<b>644</b>	<b>559</b>
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	5,208	4,785
長期貸付金	608	128
退職給付に係る資産	1,445	1,581
繰延税金資産	603	834
その他	931	911
貸倒引当金	△281	△278
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>8,515</b>	<b>7,962</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>35,343</b>	<b>35,536</b>
<b>資産合計</b>	<b>139,546</b>	<b>135,244</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	41,880	40,345
短期借入金	6,330	957
未払法人税等	1,642	1,536
未成工事受入金等	7,304	10,288
引当金	430	1,221
その他	5,292	4,804
流動負債合計	62,880	59,153
固定負債		
長期借入金	1,759	1,397
繰延税金負債	50	46
再評価に係る繰延税金負債	856	856
引当金	544	474
退職給付に係る負債	2,706	2,654
その他	2,614	2,501
固定負債合計	8,531	7,931
負債合計	71,412	67,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,162	6,162
利益剰余金	56,118	57,930
自己株式	△741	△2,290
株主資本合計	66,697	66,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	853	598
土地再評価差額金	△75	△75
退職給付に係る調整累計額	63	73
その他の包括利益累計額合計	840	596
非支配株主持分	596	602
純資産合計	68,134	68,159
負債純資産合計	139,546	135,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
完成工事高	69,048	76,090
不動産事業売上高	1,221	2,083
その他の事業売上高	5,774	5,985
売上高合計	76,043	84,158
売上原価		
完成工事原価	63,323	68,645
不動産事業売上原価	898	1,660
その他の事業売上原価	4,810	4,932
売上原価合計	69,031	75,237
売上総利益		
完成工事総利益	5,724	7,444
不動産事業総利益	323	422
その他の事業総利益	964	1,053
売上総利益合計	7,012	8,921
販売費及び一般管理費	4,726	4,743
営業利益	2,285	4,177
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	105	101
持分法による投資利益	15	8
その他	107	66
営業外収益合計	237	184
営業外費用		
支払利息	22	28
シンジケートローン手数料	25	24
貸倒引当金繰入額	—	22
前払金保証料	13	16
その他	2	8
営業外費用合計	63	99
経常利益	2,459	4,263
特別利益		
固定資産売却益	122	35
投資有価証券売却益	0	0
損害賠償損失引当金戻入額	—	50
特別利益合計	122	85
特別損失		
固定資産除却損	6	50
投資有価証券評価損	0	156
その他	2	1
特別損失合計	9	207
税金等調整前四半期純利益	2,572	4,141
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,540
法人税等調整額	△211	△218
法人税等合計	924	1,321
四半期純利益	1,648	2,819
非支配株主に帰属する四半期純利益	73	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,575	2,792



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,648	2,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	△253
土地再評価差額金	0	—
退職給付に係る調整額	15	10
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△1
その他の包括利益合計	△79	△244
四半期包括利益	1,569	2,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,496	2,548
非支配株主に係る四半期包括利益	73	26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,572	4,141
減価償却費	702	675
のれん償却額	98	98
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	814	862
株式給付引当金の増減額(△は減少)	16	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△39	△51
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△69	△135
工事損失引当金の増減額(△は減少)	186	△91
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△2
その他の引当金の増減額(△は減少)	5	20
受取利息及び受取配当金	△114	△109
支払利息	22	28
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	△14	156
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	0	△0
固定資産売却損益(△は益)	△122	△35
有形固定資産除却損	6	50
持分法による投資損益(△は益)	△15	△8
売上債権の増減額(△は増加)	12,045	16,867
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,097	△202
その他の資産の増減額(△は増加)	△284	1,935
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,512	△1,554
未成工事受入金の増減額(△は減少)	7,485	2,893
その他の負債の増減額(△は減少)	△17	△1,129
その他	25	26
小計	19,698	24,467
利息及び配当金の受取額	118	113
利息の支払額	△22	△29
法人税等の支払額	△1,550	△1,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,244	22,998

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△3
定期預金の払戻による収入	3	3
有価証券の売却による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△969	△976
有形固定資産の売却による収入	402	41
無形固定資産の取得による支出	△23	△50
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	0	0
短期貸付金の増減額 (△は増加)	6	0
長期貸付けによる支出	△40	△29
長期貸付金の回収による収入	16	3
その他の支出	△50	△29
その他の収入	8	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653	△1,019
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,130	△5,478
長期借入れによる収入	300	—
長期借入金の返済による支出	△280	△257
自己株式の売却による収入	10	21
自己株式の取得による支出	△0	△1,571
配当金の支払額	△976	△977
非支配株主への配当金の支払額	△38	△20
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△65	△71
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,180	△8,355
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,410	13,624
現金及び現金同等物の期首残高	22,858	23,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,268	36,795

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式326,500株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,570百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が2,290百万円となっております。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2020年6月15日をもって終了しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大による影響は、今後の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難であります。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の影響が当連結会計年度まで継続すると仮定して、固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

なお、当社グループは、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積り及び判断を行っておりますが、今後における感染症の収束時期や経済活動等の不確実性に左右されるため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建設	不動産	計		
売上高					
外部顧客への売上高	74,513	1,209	75,723	320	76,043
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	43	66	0	66
計	74,536	1,253	75,789	321	76,110
セグメント利益	2,219	114	2,333	34	2,367

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主要内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,333
「その他」の区分の利益	34
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△81
四半期連結損益計算書の営業利益	2,285

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	建設	不動産	計		
売上高					
外部顧客への売上高	81,750	2,091	83,841	317	84,158
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56	35	91	0	92
計	81,806	2,126	83,933	318	84,251
セグメント利益	4,062	149	4,211	36	4,248

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,211
「その他」の区分の利益	36
セグメント間取引消去	5
全社費用(注)	△76
四半期連結損益計算書の営業利益	4,177

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. [参考] 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間末 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,057	21,577
受取手形及び完成工事未収 入金等	51,313	41,620
販売用不動産	1,482	592
未成工事支出金等	823	1,275
不動産事業支出金	927	1,354
その他	4,985	3,497
流動資産合計	71,588	69,917
固定資産		
有形固定資産	8,698	9,237
無形固定資産	34	52
投資その他の資産	8,635	8,042
固定資産合計	17,368	17,332
資産合計	88,957	87,249

(単位:百万円)

	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (2019年12月31日)	当第2四半期会計期間末 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	29,673	28,830
短期借入金	3,250	250
未払法人税等	1,370	1,324
引当金	385	960
その他	8,808	10,986
流動負債合計	43,488	42,351
固定負債		
長期借入金	500	375
退職給付引当金	1,363	1,324
その他	1,136	1,119
固定負債合計	3,000	2,819
負債合計	46,488	45,171
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,158	5,158
資本剰余金	6,162	6,162
利益剰余金	30,647	32,001
自己株式	△741	△2,290
株主資本合計	41,226	41,030
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	634	440
土地再評価差額金	606	606
評価・換算差額等合計	1,241	1,047
純資産合計	42,468	42,078
負債純資産合計	88,957	87,249

(注) この四半期貸借対照表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。



(2) 四半期損益計算書(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
完成工事高	48,441	53,912
不動産事業売上高	306	1,332
売上高計	48,748	55,245
売上原価		
完成工事原価	45,279	49,213
不動産事業売上原価	165	1,091
売上原価計	45,445	50,305
売上総利益		
完成工事総利益	3,162	4,698
不動産事業総利益	140	240
売上総利益計	3,303	4,939
販売費及び一般管理費	1,923	2,037
営業利益	1,379	2,902
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	533	519
貸倒引当金戻入額	1	2
その他	22	17
営業外収益計	562	545
営業外費用		
支払利息	9	10
その他	22	58
営業外費用計	32	69
経常利益	1,909	3,378
特別利益		
固定資産売却益	60	—
投資有価証券売却益	0	0
その他	0	—
特別利益計	60	0
特別損失		
固定資産除却損	0	5
投資有価証券評価損	0	150
特別損失計	1	156
税引前四半期純利益	1,969	3,222
法人税、住民税及び事業税	706	1,068
法人税等調整額	△210	△179
法人税等合計	496	888
四半期純利益	1,472	2,334

(注) この四半期損益計算書は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

4. 補足情報

2020年12月期の個別受注高(2020年1月1日~2020年12月31日)

個別受注実績

	受注高	
2020年12月期第2四半期	52,665百万円	△19.9%
2019年12月期第2四半期	65,720	△21.6

- (注) 1 受注高は、当該四半期までの累計額  
 2 パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位:百万円、%)

区 分		2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	比較増減	増減率	
建設事業	建築	官公庁	929 ( 1.4%)	3,140 ( 6.0%)	2,210	237.8
		民間	48,397 ( 73.6 )	35,551 ( 67.5 )	△12,845	△26.5
		計	49,326 ( 75.1 )	38,691 ( 73.5 )	△10,635	△21.6
	土木	官公庁	11,668 ( 17.8 )	7,949 ( 15.1 )	△3,718	△31.9
		民間	4,419 ( 6.7 )	4,498 ( 8.5 )	79	1.8
		計	16,087 ( 24.5 )	12,448 ( 23.6 )	△3,639	△22.6
	合計	官公庁	12,597 ( 19.2 )	11,089 ( 21.1 )	△1,508	△12.0
		民間	52,816 ( 80.4 )	40,049 ( 76.0 )	△12,766	△24.2
		計	65,414 ( 99.5 )	51,139 ( 97.1 )	△14,274	△21.8
不動産事業		305 ( 0.5 )	1,525 ( 2.9 )	1,219	398.6	
合計		65,720 (100.0 )	52,665 (100.0 )	△13,055	△19.9	

(注) ( ) 内のパーセント表示は、構成比率

個別受注予想

	受注高	
2020年12月期予想	92,000百万円	△23.9%
2019年12月期実績	120,847	△20.2